



鹿兒嶋戦記

鹿兒嶋縣賊徒の巨魁西澤吉之助自ら新政大總督征討大元帥と稱し其勢凡一万四千余人鹿兒嶋と練出一肥後の國境まで兵と二手に分け水俣人吉の兩道より進み八代を兵七合能本さして押寄り維新明治十年二月廿日時辰より能城と田立立られ城中更に屈する色も防衛の術と尺もなき賊兵一旦軍に響め各所陣營を構へり同廿三日の西日山鹿島に戦争始り官軍頗る勝利とめて賊軍と討ちあひつた目覚まし形勢ありと云

山内人記

新旗

山内半左王門

西郷小平

新政大元帥西郷隆盛

淵邊高昭

村田新八

永山大郎

池上四郎

吉井少佐

早松山

接續町十五番地
西日山麓之助
承元三十一番地
板元堤吉兵工

